

YOKOSHIN NEWS

平成 29 年 6 月 28 日
横 浜 信 用 金 庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—平成 29 年 4～6 月期実績、7～9 月期予想—

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

(全業種総合)業況判断は悪化するもプラスを維持、来期は改善の見込み

- 今期(平成29年4～6月期)の全業種総合業況判断DIは、前期比4.8ポイント低下の5.3と悪化した。来期は、今期比1.7ポイント上昇の7.0と改善を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比4.7ポイント低下の9.5となった。来期は、今期比4.4ポイント上昇の13.9を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比4.8ポイント低下の3.2となった。建設業は前期比20.0ポイント低下の23.3、不動産業は同5.9ポイント低下の-1.5、卸売業は同4.8ポイント低下の-7.2となった。

【特別調査】「中小企業の3～5年後の事業の見通しについて」

- 自社の事業の見通しは「どちらともいえない」(68.0%)
- 安定した事業を続けるために重視する事柄「人材」(50.5%)
- 現在の事業の展開方針「現在の事業を、現状のまま継続したい」(48.7%)
- 積極的な設備投資を開始するタイミング「景気の先行き不透明感の払拭」(35.7%)
- 公的機関等の経営相談窓口に希望する支援「販路開拓・マーケティング支援」(41.2%)

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:758先
調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成 29 年 6 月上旬

※ その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。



横浜信用金庫